

## 沿革 HISTORY

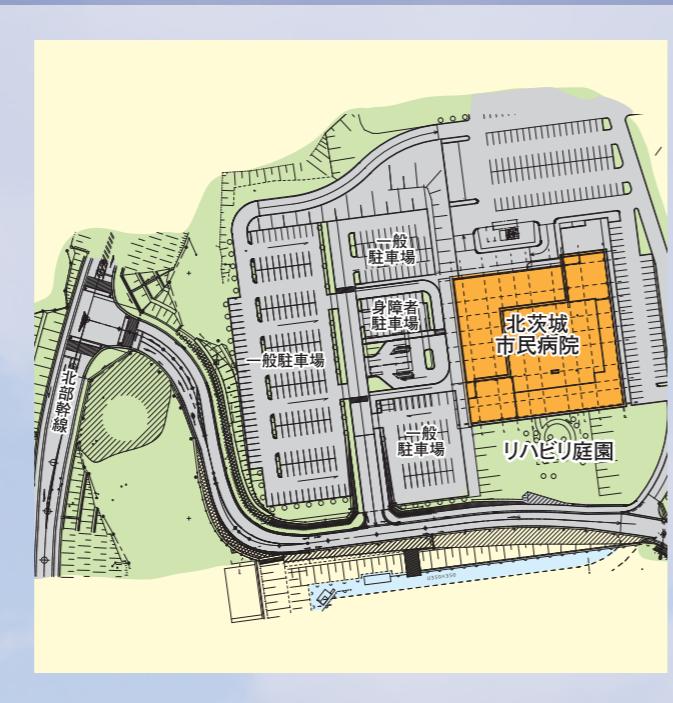
- 昭和21年（1946年） 大津町立病院として開設（木造平屋）  
昭和33年（1958年） 北茨城市立病院に改称（病床数54床）  
昭和47年（1972年） 新病院開院（鉄筋コンクリート造り、地上4階建て、病床数110床）  
昭和51年（1976年） 特別病棟（リハビリ施設等）及び新館1号棟増築（病床数110床→161床）  
昭和52年（1977年） 救急指定病院に指定  
昭和59年（1984年） 新館2号棟増築（病床数161床→210床）  
昭和62年（1987年） 北茨城市立総合病院に改称  
昭和63年（1988年） へき地中核病院に指定（翌年、巡回診療車によるへき地診療開始）  
平成15年（2003年） 北茨城市立総合病院運営検討委員会を設置  
平成21年（2009年） 新病院建設検討委員会を設置  
平成22年（2010年） 許可病床数を変更（210床→199床）  
平成25年（2013年） 関南町に敷地を移し、新病院建設工事着工  
平成26年（2014年） 新病院の竣工に伴い、北茨城市民病院に改称  
平成26年（2014年） 新病院開院〔鉄筋コンクリート造り、地下1階・地上4階建て、病床数183床（うち療養病床として46床を新設）〕  
平成27年（2015年） 附属診療所として、家庭医療センターを開設

リハビリ庭園

## 地図 ACCESS



## 敷地内平面図 Site



## 交通機関 TRAFFIC

- JR 大津港駅から徒歩で約 15 分
- JR 大津港駅から北茨城巡回バスで約 5 分
- 常磐自動車道 北茨城 I.C から車で約 15 分
- 常磐自動車道 いわき勿来 I.C から車で約 15 分
- 市内 3 駅と市民病院を結ぶ無料シャトルバス



Kitaibaraki City Hospital

北茨城市民病院

〒319-1711 茨城県北茨城市関南町関本下 1050 番地  
TEL 0293-46-1121(代)  
FAX 0293-46-6526  
<http://kitaibaraki.info/>

新しい環境でより良い医療の提供と  
地域に貢献できる質の高い病院を目指します。



Kitaibaraki City Hospital

北茨城市民病院





北茨城市民病院 開設者 とよだ みのる  
豊田 稔  
北茨城市長



平成26年11月、長年の懸案でありました新病院が完成し、名称も市民病院として新たな歴史を歩みだすことがで  
きましたのも、ひとえに市民の皆様の御支援及び関係各位の御尽力の賜物であると心から感謝申し上げます。

市民病院は、免震構造の採用、市内に不足している療養病棟の新設、健康維持・管理を推進するための健診  
エリア等、医療提供体制の充実を図っております。

一方で、本市病院事業は、医療及び経営の改革を推進するため、平成27年4月に地方公営企業法の全部適用  
に移行するとともに、新たに事業管理者を設置しました。また、医師不足の解消及び超高齢化社会の到来を見据え、  
筑波大学と協力し、総合診療医・家庭医の教育機関としてモデル的な取組を進めております。

今後、この2つの公立医療機関が、本市創生事業の柱である健康都市づくりの核となり、福祉施設、地域の医療機関等の協力・連携を得て、  
市民の皆様の安全・安心を全力で確保してまいりますので、関係各位の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

たぶち たかふみ  
病院事業管理者 田渕 崇文



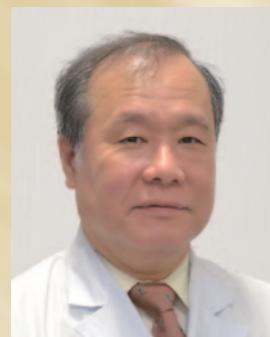
市民病院は、地域の基幹的な公立医療機関として重要な役割を担わなければなりません。少子高齢化が急速  
に進む中、医療及び介護の需要が大きく変化すると予測され、今後は地域医療の在り方が問われるなど、適切  
な医療提供体制の再構築が必要となります。

このような中で、公立病院として地域の医療機関、福祉施設などと適切な役割分担の下、必要な医療提供体  
制の確保を図らなければなりません。その一環として、中郷町に開設した家庭医療センターは、市民のかかりつけ医  
的な役割を果たすため、在宅医療、訪問看護等の事業に取組んでおります。

一方で、公立病院の運営は、急激な医療改革等、全国的にも厳しい環境に置かれております。本市病院事業は、こうした状況にあっても、  
引き続き公立病院としての役割を果たすことができるよう、平成27年4月に地方公営企業法の全部適用となり新たなスタートを切りました。

今後におましても、職員が一丸となり、安定した経営の下で、医師、看護師等、医療スタッフの人材確保と育成を図り、良質な医療を提供するとともに、  
疾病予防の知識の提供、健康診断、人間ドック等の事業を積極的に取り入れ、健康管理を推進し、市民の皆様に愛される病院運営に努めてまいります。

うえくさ よしふみ  
病院長 植草 義史



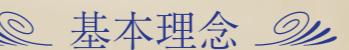
市民病院の役割(使命)は、今後到来する少子高齢化社会に向けた医療提供と考えており、地域医療を守るために  
総合診療医がプライマリ・ケアを行い、近隣等開業医の先生方をはじめ多方面の諸機関とネットワークを築き、健康都市  
づくりに向けて、自助、互助、共助及び公助に基づき、多職種で患者さんの疾患管理を行うことと考えております。

しかしながら、北茨城市的人口10万人に対する医師数は、全国平均値の33%、同様に看護師数につきましても39%  
と非常に少ない医療職で賄っている現実があります。ここで忘れてならないことは、自分の健康は自分で守るという姿勢と  
行動であると思います。それをサポートするために、本市病院事業が行う医療は、救急患者の初期診療、急性期疾患  
の一般的診療、一般的な疾患の継続診療、予防医療(予防接種・住民教育・健康診断)への取組、民間医療で取り残された住民の診療、地域  
包括ケアの中核としての機能及び家庭医療センターにおける在宅診療になります。

新病院の開院を機に、職員一同が、更に一丸となり、市民の皆様の期待に応えるように努力してまいります。

日本藝術院会員 蛭田二郎先生の作品  
「沼辺のスケッチー水鳥」

1階ホスピタルモールにある荒田耕治先生の作品「みちのべ」  
四葉のクローバーには、「愛情」「誠実」「希望」「幸運」の意味がこめられています。



茨城県北部の中核病院として、  
患者様中心の医療と  
地域医療水準の向上を推進する。



- 市民の生命と健康を守り、医療の質的向上を図り地域医療を支援する。
- 患者様中心の医療提供と信頼される病院を目指す。
- 地域に即した医療を提供する。
- 健全な病院経営を推進する。



### 診療科目 16科

内科、消化器内科、循環器内科、外科、消化器外科、脳神経外科、  
整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、  
耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔(くう)外科、麻酔科

病床数 183床

- 一般病床 ··· 137床
- 療養病床 ··· 46床



名 称 北茨城市民病院(旧名称:北茨城市立総合病院)

開設者 北茨城市長 豊田 稔

病院事業管理者 田渕 崇文

病 院 長 植草 義史

指 定 第二次救急医療機関(輪番制病院)、へき地医療拠点病院

所 在 地 〒319-1711 茨城県北茨城市関南町関本下1050番地

敷 地 面 積 48,145 m<sup>2</sup>

延 床 面 積 13,783.18 m<sup>2</sup>

構 造 階 数 鉄筋コンクリート造(一部PCaPC造・免震構造)5階建

一般駐車場 247台



### 各階部門構成

4F	大会議室、展望ロビー
3F	A病棟301~326号室(一般病床)、B病棟331~363号室(療養病床)、デイコナー スタッフステーション、特別室、ME室
2F	A病棟201~225号室(一般病床)、B病棟231~266号室(一般病床)、デイコナー スタッフステーション、特別室
1F	総合受付、外来、救急外来、健診室、中央処置室、放射線室、臨床検査室、化学療法室、 感染診察室、相談コーナー、医事課、地域医療連携室、売店、ラウンジ、ATM
B1F	手術室、リハビリテーション室、薬務室、調理室、栄養事務室、解剖室、霊安室、リハビリ庭園、総務課

自動販賣機

エントランスから望むホスピタルモール





## ゆとりのある快適な環境

正面玄関を入ると一面にホスピタルモールの空間が広がり、総合案内、地域医療連携室、医事会計窓口、投薬窓口などがあります。右側には診療ブース、左側に検査室、中央処置室、放射線室、内視鏡室等があり、動線的にもわかりやすく診療が同じフロア内で完結できる配置となっております。

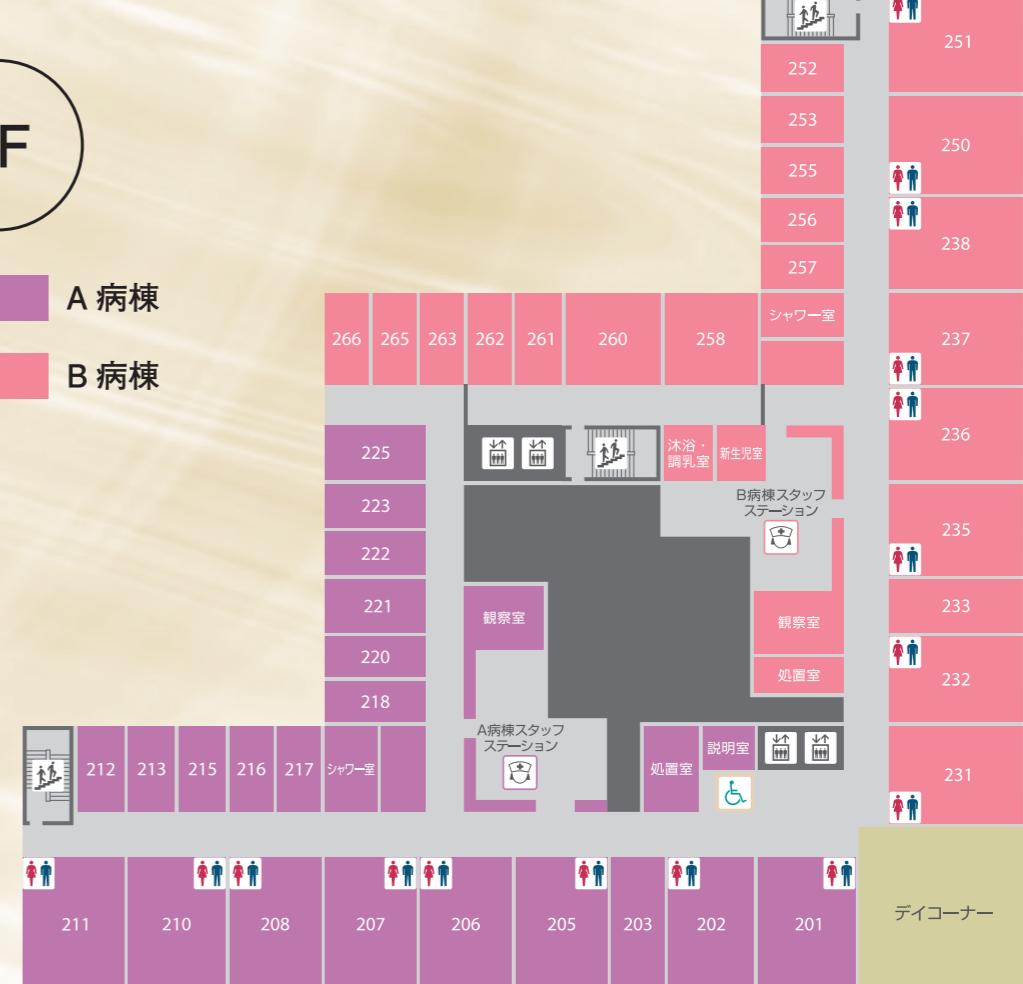


## 心やすらぐ入院環境

病室はゆったりしたスペースの4床室と個室で構成されており、豊かな自然を望むことができます。  
※2階は一般病床89床で主に外科系のA・B病棟となっております。

2F

A 病棟  
B 病棟





病室（4床室）



病室（特別室）

## 新たに療養病床を新設

病室は新たに療養病床を加え、ゆったりしたスペースの4床室と個室で構成されており、豊かな自然を望むことができます。  
※3階は内科系の一般病床A棟（48床）と療養病床B棟（46床）となっております。

3F

A 病棟

B 病棟



特殊浴室



デイコーナー（3階）

B1F



通用口 ▶

地下1階は、広々としたリハビリテーション室と手術室があります。  
また、管理部門がここに集約されています。  
4階には、海まで一望できる展望ロビーがあり、  
高台を生かした景色をご覧いただけます。  
大会議室は常時120人収容できます。

4F



大会議室



リハビリテーション室



手術室



## 主要な高度医療機器

MRI検査、CT検査、血管撮影検査、マンモグラフィ検査、X線テレビ検査など最新技術の導入により、良質な医療を提供してまいります。



1.5T( テスラ ) 超電導MRI装置



64CHマルチスライスCT



血管撮影システム



デジタル式乳房用X線診断装置